

誰からも何らの強制または義務を負う事なくコツコツぼちぼちムリせずに、できる事をできる時にできるだけ。さと川をいつも安全で美しく親しめる川にして次世代に引き継ぐこと、これを通じ瀬戸内海の環境保全に寄与する小さくともキラリと光る成功例になろう。

活動の足あと H23 年 1 月～ 2 月

第 194 回〔11.01.09(日) AM 9:00～11:30〕 1月も松の内に活動を開始、集合場所の南小横の花壇手入と周辺の草刈とゴミ拾いをするグループ、毘沙門さんの下から上流に向け刈取を進めるグループに分れ丸9年の活動を完遂しました。



年初活動日は毎年ふし目。過ぎし日の無事に感謝、個々の会員は元より、地域の向う一年の無事息災を祈願、恒例の乾杯に続きゼンザイとトン汁に舌鼓を打つ。今回は名実ともに卒寿、満90才、最高齢の会員が出席され、みんな元気を頂いた。



第 195 回〔11.02.06(日) AM 9:00～11:30〕 ゴミ拾いは主に女性が受持つが、足腰が弱まり川原のゴミ拾いが苦痛と訴える人が大半です。10年目を迎えた最初の活動日、南小近くの川原にはポイ捨てゴミがヤタラに目立ち、『この状況を見過せない』と川に入りました。多かったゴミ。女性会員の補強が急がれます。嫌味ではない、欠席がちな女性会員の出席と新規入会に活動の望みを託しています。もちろん男性も例外ではなく同様の状態です。特に新会員の入会を切望しています。



草刈隊は毘沙門天の下から円堂谷口まで刈取る。10年前は50～60余才と若くて力(リキ)も有ったが、いま平均68才で休憩に休憩を重ね微速前進の活動状況。自分達が活動に加わったのと同じ年くらいの若手の入会を“待ってるぜっ！”



*****〔11.02.14(月) PM 11:50～16:00〕 1面に紹介した姫路市長からの感謝状と、それを頂戴するところ、そして『元気の源は日々の食から』の講演を待つ聴衆です。須加院川の会から三名が出席、受賞に講演と感動の内に帰村した。



*****〔11.02.21(月) PM 12:30～16:00〕 『須加院川のどこからもホテルを飛ばそう』と、県から受けた多額の助成金をテコに子供会や南小とコラボを進め当初計画を終了。5名が中播磨県民局での発表と交流会に出席。(発表と交流会のようす)

